

わかしお便り

Vol. 53

Wakashio Dayori
2021.1.21

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。
本年も読者様の小麦粉関連情報収集の一助となるべく努めてまいりますので、
何卒宜しくお便り申し上げます。

CONTENTS 原料小麦情報……シカゴ市況、麦価・粉価動向など
市場トレンド情報……‘ちばふん’目線で最近の食品市場をご案内
当社製品情報……イチオン製品のご紹介
雑感

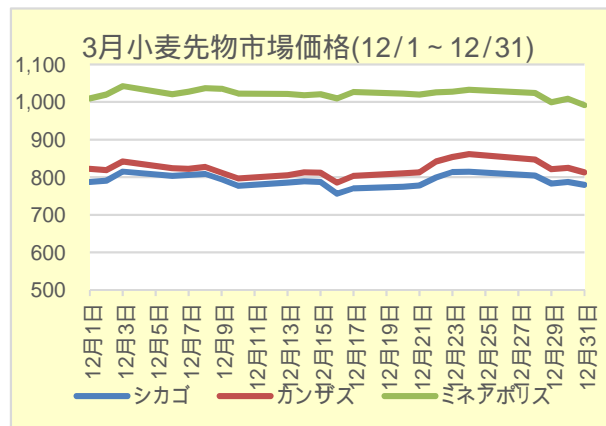


豪州の豊作や変異株不安から下落も 天候への懸念による買いが入り横ばい

12/1～12/31までのシカゴ穀物相場(3月限)は¢756～815/ブッシェル(bu)のレンジで推移しました。12月の小麦相場は堅調な需要予測や天候への懸念を要因とした買いと、新型コロナウイルス・オミクロン株感染拡大による先行きの不透明感やドル高を要因とした売りが交錯したことで、全体を通して横ばいとなりました。

9日にUSDA(米国農務省)から発表された需給報告では、豪州の生産見通しが大幅に引き上げられたことに伴う世界在庫の上方修正が確認されたことで、下落基調となりました。下旬には米国主要生産地における記録的な強風や天候懸念により相場が上昇する局面もありましたが、年末にかけて調整売りが集まったことで最終的には月初と同水準に収まる推移となりました。

1月に入ってからは豪州やアルゼンチンにおける生産見通しが市場の予測を大幅に上回った影響で3相場ともに下落基調にあり、ミネアポリス相場は9月以来



となる800¢台の値を付けています。

生産地の天候に関しては、日本向け冬小麦の生産地である米北西部に降雨が確認されているものの、その他の冬小麦生産地や春小麦生産地は降雨が少なく乾燥が続いています。今後は各地の天候が相場における判断材料となると予想されるため、注視していく必要がありそうです。特に12月からはラニーニャ現象による南米の高温・乾燥が続いており、コーン・大豆の価格が上昇を続けています。ラニーニャ現象は春まで続くと考えられており、小麦相場への波及に注意が必要です。



2021年に見る2022年海外トレンドについて

新年明けましておめでとうございます。今年も千葉製粉をどうぞよろしくお願いいたします。新型コロナウイルスは新たな変異株「オミクロン株」が猛威を振るい、急激な感染者の増加がニュースのトップとなる日々で不安は尽きませんが、体調管理に十分注意してお過ごしてください。

さて、本コーナーでは「食」に関するトレンドについてアレコレお話させていただいておりますが、今回は2022年の海外でのトレンド予想について話を聞く機会がありましたのでご紹介したいと思います。

拡大する「プラントベース」市場

「プラントベース」という概念が近年、ヨーロッパ・アメリカを中心として著しい成長を見せており、無視できないキーワードとなりそうです。プラントベースの考え方は、健康増進を主な目的として植物性食品をより多く取り入れていこうというコンセプトに基づいています。一方でヴィーガンやベジタリアンの考え方は、動物愛護を目的とした動物性食材を極力排除した食生活を送るコンセプトとなっていることが一般的に多く、「動物性を含まない」という共通点はありますが、考え方が異なるようです。

日本にもあるバーガーキングで販売されている「プラントベースワッパー」。2021年3月に定番化した100%植物性パティを使用した商品です。日本でもこういった商品が増えていくであろうと見られています。私自身まだ食べられていないので、ぜひ食べに行きたいと思っています。

免疫力、腸内環境への消費者意識の高まり

新型コロナウイルスの蔓延により免疫に対しての意識が高まっており、「免疫の健康を維持するために重要な要素とは何か？」という質問に対して健康な腸が強い免疫システムを作ると考える人が世界的に増加しているというデータが紹介されました。

腸内フローラを整えるための注目ワードとして、食物繊維はやや古いそうで、プロバイオティクス(腸内フローラのバランスを改善することによって宿主の健康に好影響を与える微生物)、プレバイオティクス(大腸内の特定の細菌の増殖および活性させることで宿主の健康を改善する難消化性植物成分)といった専門用語もレクチャーされました。

サステナビリティ

SDGs(持続可能な開発目標)はもうお馴染みの言葉となりました。社会的にも消費者ニーズ的にも、サステナブル待ったなし、という状況です。

消費者への意識調査の中で「SDGsのための行動として、今後も継続する予定のものは何か？」という問いに対して一番多かった答えは、「食品ロスの削減」「リサイクル/アップサイクル」であり、おからのようなある商品の残渣に新しい価値を見出して製品化した商品が注目を浴びることが海外では多いようです。

(3 ページに続く)



市場トレンド 情報



2021年に見る2022年海外トレンドについて

(2 ページからの続き)

クリーンラベルの進化系

クリーンラベルは「出どころの明確な体に良いとされる原材料を使いましょう」というトレンドのことです。何をクリーンと捉えるのかは顧客次第となっていますが、「無添加」「ナチュラル」「オーガニック」「non-GMO」が挙げられることが多いようです。

進化するクリーンラベルでは、クリーンな原料はどこから来たのか？生産者は誰なのか？といった、より商品に対しての高い透明性や、本物で栄養素や機能性が高いことが求められる傾向が見られるそうです。

以上、2022年の海外での食に関するトレンド予想をお送りしました。日本には少し遅れてトレンドが入ってくる傾向が見られるということなので、日本のトレンドを占うという意味でも有意義な授業でした。ご参考になれば幸いです。

(AT)



パーソナライズ

ネットワークが発達したため、自分のスタイルや信念、ニーズに合わせて商品を購入したいと考える人が現在では6割以上となっているというデータがあります。多様化に対応するため様々な商品を開発することはもちろんのこと、スマホ・AIを活用した販売後のパーソナライズも重要視されています。かくいう私も体調管理アプリを活用し、健康チェックを行っています。



当社製品情報



「花象 菊」

今回は、「花象 菊」の紹介をさせていただきます。
こちらの商品は加工澱粉を配合した『うどん用粉』になります。

「花象 菊」は厳選した小麦粉と加工澱粉をバランス良く配合する事により、モチモチとした粘弾性の軟らかな食感と、ツルみ感があり、透明感のある色調が特徴となっております。

そして、生麺・乾麺等の『うどん』は茹で時間が長いですが、「花象 菊」は加工澱粉配合の為、茹で時間を短縮出来るように開発致しました。また、老化耐性・冷凍耐性に優れているので、冷凍麺・調理麺にも適しています。うどん・つけ麺・乾麺・冷凍麺等、汎用性のある製品となっておりますので、幅広くご使用いただけます。

長くご愛顧いただき誠にありがとうございます。これからもよろしくお願ひ申し上げます。



雑感

歳が明けてから早くも半月がすぎました。読者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。筆者は年末の冷え込みを受け、電気カーペット・こたつ・エアコンの暖房3台体制に加え、部屋着を着こみ万全の寒さ対策をもって年越しを迎えました。しかし電気カーペットでは肌が乾燥し全身がかゆくなり、エアコンを使えば空気が乾燥し喉が痛くなり、乾燥した部屋で重ね着をしたため静電気に飛び上がり、散々な年越しでした。風邪も流行る季節ですので、皆様も寒さと乾燥にはお気を付け下さい。

50周年のあれこれ

皆様、寒い日が連日続いておりますが如何お過ごしでしょうか。新型コロナウイルス第6波が襲来して感染者が激増していますので、より十分に気をつけてください。

プロレスの一ファンである私ですが、年始1月4日、5日東京ドームにて新日本プロレスの一大興業であるレスリングダム16が開催されました。2日共にIWGP世界ヘビー級チャンピオンのタイトルマッチがあり、オカダ・カズチカがチャンピオンに復活し更に防衛しました！因みに初代チャンピオンは、皆さまが知っているアントニオ猪木です。

そんな新日本プロレスですが、今年創立50周年を迎えます。そこで今回は、皆様に馴染みのあるあれこれから、今年50周年を迎える物を調べてみました。

【50周年のあれこれ】

- ・ドラえもん誕生50周年...川崎市の藤子不二雄ミュージアムでドラえもん50周年展が開催中です。
- ・カップヌードル販売50周年...50周年を記念した本物そっくりのポーチが話題です。書店やコンビニ等で販売されているそうです。
- ・プッチンプリン誕生50周年
- ・小枝(森永製菓)誕生50周年...現在では小枝のアイ

スパーも販売されています。

- ・ベルサイユのばら誕生50周年...50周年を記念した「ベルサイユのばら展」が今年9月に開催されます。

他にも当時の出来事から50年が経過する事といえば、「沖縄返還」、「残留日本兵の横井庄一さんグアムからの帰還」、「札幌オリンピック開催」、「日中国交正常化」などがありますが、どれもこれも、当時からもう50年も経ってしまったのかと思う次第です。因みに相撲の貴花田が達成した、史上最年少優勝(1992年1月26日)からも、30年が経過します。(T.I)



 千葉製粉株式会社

製粉・ミックス事業本部

Tel:043-241-0116 Fax:043-241-0611 E-mail:seifun-mix@chiba-seifun.co.jp

【重要】本レポートは、あくまで小麦粉関連の情報提供を目的に作成されたものです。信頼できると思われる公開情報に基づき作成されておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。読者の皆様におかれましては上記ご留意の上、ご覧くだされば幸いです。皆様に未永くご愛読いただけるよう執筆者一同精進いたしますので、引き続き宜しくお願ひ申し上げます。